

2019 年度(平成 31 年度)

**事業計画書**

(第 9 事業年度)

自 2019 年 1 月 1 日

至 2019 年 12 月 31 日

**公益社団法人企業メセナ協議会**

## <目次>

2020年、そしてその先を見据えて.....	2
2019年度重点目標と施策.....	3
I. 組織運営.....	4
II. 事業計画	
調査・研究.....	6
認定・顕彰.....	8
会員ネットワーク/セミナー.....	11
相談・協力・コンサルティング.....	12
助成.....	13
広報.....	15
III. 年間スケジュール.....	18

## 2020年、そしてその先を見据えて

企業メセナ協議会は1990年の設立から、2019年で29年目を迎える。東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020年は協議会の創立30周年の年でもある。

### 日本のメセナ

日本では2017年6月に今までの文化芸術振興基本法が『文化芸術基本法』として改正され、2018年6月には『障害者による文化芸術活動の推進に関する法律』、並びに『国際文化交流の祭典の実施の推進に関する法律』が施行され、国全体で文化芸術を推進する環境が整ってきている。また、オリンピックはスポーツだけではなく文化の祭典でもあると認識されつつあり、文化芸術活動促進の機運も高まってきている。

### 持続可能な社会への挑戦

一方、世界に目を向けるとCSR、CSVやESGなどの概念だけでなく、2015年9月に2030年までに社会的課題を解決し持続可能な社会を実現するための目標、SDGsが国連で設定され、日本でも政府だけでなく経団連ではSDGs本部ができるなど実現に向けて企業の実践も求められている。

### 企業メセナ協議会の役割

このような中、企業メセナの在り方も変化してきている。協議会としてメセナ活動の多様な取組みに光を当て、未来への投資につながるメセナ活動の促進を図るための芸術文化振興のプラットフォームとなるべく、自ら変革して行く必要がある。その為に、会員をはじめ様々なステークホルダーの声を聞きながら、心豊かな社会創造に向かって中・長期的視点でこれからの企業メセナの方角性を明示し先導して行く役割を担っていく。

### 2020年そして未来へ

2020年を東京オリンピック・パラリンピックの年と捉えるだけでなく、設立30年を一つの節目とし、未来に向けた新たな協議会のスタートとなる年としたい。

その為に、2019年は

1. 2017年からの協議会の価値を高めるための体制強化を本年も継続して行う。  
(具体的には、助成、認定・顕彰、調査の3事業に重点を置き、それぞれの活動の価値を高める広報体制の確立に注力する。)
2. 創設時からの企業メセナに関する蓄積を整理、見える化し、広く活用できる形にする。
3. 2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおける文化の祭典に向けて取組の準備を行う。
4. 2021年を協議会の新たなスタートとするための創立30周年に向けた準備を行う。

## ■重点目標と具体的施策

### 1. 事業活動の見直しを継続し、各事業との連携を更に強化

社会の動き、変化、潮流を見据え、短期的・長期的視点から各事業を見直し、内容の充実を図る。同時に活動内容、情報を共有し、活動成果の最大化を図る。

- ① メセナの価値を深掘りする調査研究、多様なメセナ像を提示する認定・顕彰
  - ・ 会員企業・団体などの声に耳を傾け、メセナの社会的な価値、企業・団体にとっての価値を掘り下げ、メセナ活動をより活性化させる事業を目指す
- ② 助成事業の全体を整理し、より活用されやすい形での運用
  - ・ 助成事業のPDCAを検討、実施する
  - ・ 助成制度の認知度の向上を図る  
(協議会の助成制度の特徴について、会員企業をはじめNPOなど様々なステークホルダーの理解を促進するよう努める)
  - ・ 「2021 Arts Fund」を活用した多様な目的ファンドの実現を目指す
- ③ 外部との連携体制の強化
  - ・ 必要に応じて外部専門家を活用し、アートNPOや文化機関などと連携して事業を推進する
- ④ 2020年オリンピック・パラリンピックに向けた文化の祭典への取組の検討
  - ・ 協議会として、会員企業の活動に光をあてる機会を創出するよう努める。
- ⑤ 30周年に向けて
  - ・ 協議会機関誌「メセナ note」(1990年6月1日～2014年3月)の電子データ化を行い、Web公開を検討し、実施する
  - ・ 過去に出版し、現在も需要がある冊子を広く活用してもらうためにリニューアルする  
「企業メセナへのアプローチガイド」(2007年3月30日発行)  
「メセナを知る本」(2010年12月3日発行)など
  - ・ 30周年を迎え、これからの企業メセナを明示するプログラムを検討し、2020年の開催に向けて準備する。  
「これからの企業とメセナ」を見据えたテーマで財界人と文化人を招いたシンポジウムを開催する、など。

### 2. タイムリーで有効な「場」、「情報」の提供を行う

会員企業をはじめ文化振興にかかわる内外機関など、様々なステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、タイムリーで有効なセミナー、コーディネート・コンサルティングなどを行い、国内外の芸術文化振興を促進させるプラットフォームとしての役割を果たしていく。

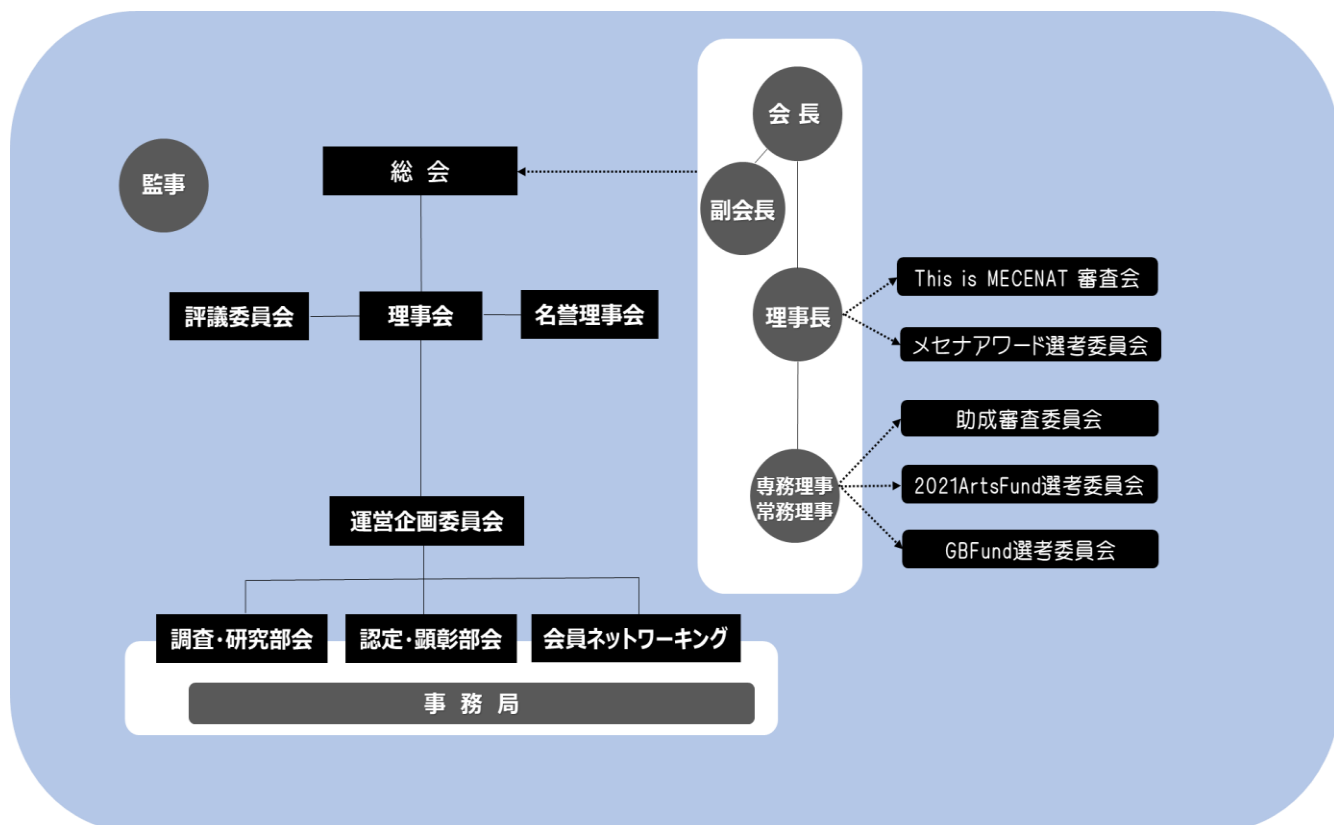
- ① 会員の意見を反映させる事業推進、コミュニケーション強化
  - ・ 部会、ワーキンググループの活性化、情報提供、意見交換の場づくり

- ② 企業メセナおよび協議会の発信力の強化
  - ・ 現状の広報活動の効果を分析し、協議会全体として最大の効果が発揮できる戦略的な広報活動を検討し、できることから実施する。
  - ・ 年間の広報プランを作成し、効率的に実施する
- ③ コーディネート、コンサルティングの充実
  - ・ メセナの専門機関として、集積している情報とネットワークを事務局内で共有、活用し、企業をはじめ芸術文化振興にかかわる内外機関などの活動のサポート、促進を図る。
- ④ 会員管理システムの充実
  - ・ 会員とのコミュニケーションをよりスムーズにするため会員データベースの見直しをし、利用しやすいものにする。

### 3. 事務局のレベルアップを図り、協議会としての価値を高め発信力の強化につなげる

協議会に蓄積された情報や知見を活かすだけでなく、適切な研修に参加するなど、職員の能力・専門性の向上に努め、企業メセナおよび協議会の社会的なプレゼンスの向上を図り、発信力を更に高めていく。また、メセナに関してだけでなくSDGs など幅広く社会に関する知識の習得にも努める。

## I. 組織運営



1. 総会

会員が一堂に会し協議会の事業・運営について合意形成をはかるとともに、会員相互に交流する機会と捉えて、芸術文化振興に関する情報提供と、メセナ推進についての意見交換ができる場となるよう努める。[2019年3月開催]

2. 理事会

中期経営計画(2016.1.~2020.12)に掲げたミッションに照らし、協議会の事業推進と組織拡大に努める。[通常理事会:2月、12月/ほか臨時理事会]

3. 役員会

理事を中心に、名誉理事・評議員・顧問を含めた役員合同会議を行うなど、協議会運営について幅広く指導を仰ぎ、あわせて情報の共有をはかる機会とする。[年1回以上開催]

4. 運営企画委員会

各部会・ワーキンググループ・プロジェクトチームの事業展開について共有・協議し、事務局とともに理事会への提案を行うとともに、芸術・文化振興に関する諸課題について実質的な議論を行う。[年4回程度開催]

5. 部会・ワーキンググループ、プロジェクトチーム

部会・ワーキンググループは各事業の方向性や制度設計等について議論し、事務局の実務の遂行に対してアドバイスを行う。

- 調査研究部会:メセナ活動実態調査および事例研究等の推進
- 認定顕彰部会:認定制度「This is MECENAT」顕彰事業「メセナアワード」の推進
- 会員ネットワーキンググループ:会員相互のネットワーク形成に資する活動を展開

## II. 事業計画

### 【調査・研究】

#### ■目的

日本の企業メセナの現状と可能性について調査・分析。日本のメセナ活動の状況・トレンドを理解し、またメセナ活動それぞれの固有の価値を抽出する。企業メセナの多様な価値を顕在化するとともに、今後の企業メセナ推進の一助となるよう、情報の整備を行う。

#### ■事業内容

##### 1. メセナ活動実態調査

\*平成31年度文化庁委託事業／委託期間:2019年4月～2020年3月

全国のメセナに取り組む企業・企業財団を対象とする定期調査。前年度の各社・団体の取り組み実態について、例年6月頃、企業約2,000社・企業財団約300団体へアンケート票を配布。夏～秋ごろに事務局内および外部調査業者での集計を経て、調査研究部会で議論を行い、春ごろ集計データから見える最新トレンドを発表する(報告書『Mecenat Report』発行、報告会の実施)。

調査結果は国内におけるメセナに関する唯一の統計調査として、企業・企業財団、国、自治体、文化機関等で活用されている。

##### 2. メセナに関する事例研究(メセナ・アソシエイト)

\*平成31年度文化庁委託事業／委託期間:2019年4月～2020年3月

2014年度より実施している、メセナに関する事例研究。メセナ研究者育成を目的に、毎年公募で募った若手外部研究員と協働し、「メセナ活動実態調査」や協議会把握データの活用、メセナ実施企業等へのヒアリング調査により、専門性を活かしメセナの価値を掘り下げる事例研究を行う。

##### 3. メセナに関する国際調査

\*平成31年度文化庁委託事業／委託期間:2019年4月～2020年3月

国外における企業メセナや民間における芸術文化活動、中間支援団体の活動について、基礎データを収集し、日本との比較を行い、日本の企業メセナの位置づけを確認し、国際的なトレンド・兆候について情報収集を行う(対象国:米・英・仏・豪等)。

#### 4. 情報ライブラリーの運営

協議会発行物やメセナ・文化政策・アートマネジメント等に関する書籍、企業・企業財団のメセナ資料の管理、利用者対応を行う。

##### ■課 題

1. 「メセナ活動実態調査」について、新規でメセナを行っている企業や近年回答のない企業等の掘り起こし。また、異動により減少した部会メンバーの補充・拡充や集計データのより深い分析と近年の兆候をとらえるための考察時間の確保。
2. 会員企業に対する調査結果のフィードバックの工夫、および協議会各事業での活用機会の拡大。
3. 情報ライブラリーの蔵書や資料の整理および活用方法の改善。

##### ■重点施策

1. 「メセナ活動実態調査」分析強化のための実施方法およびスケジュールの見直し
  - 業務の効率化および回答率の増加を目指し具体的な方法を検討する。未回答企業・企業財団の掘り起こしをさらに進める。
  - 実施方法・スケジュールを見直すことにより、調査結果についての議論や、追跡調査を行う時間を確保することで、分析をより深めるようにする。
  - 調査研究部会のメンバーの拡充を図るとともに、外部の専門家も交えたディスカッションの機会を作るなど、調査の質を高めるよう努める。
2. 調査結果の活用機会の向上、調査報告書の見直し
  - 年 1 回程度、調査研究部会と連動した勉強会を実施。前年度実態調査回答の傾向や、具体事例を取り上げ、ゲスト講師を招くなど実態調査を深堀する。
  - 調査報告書の送付先を引き続き芸術団体や大学を含む研究機関などへも拡げ、メセナ活動の意義や実施企業の実態についてより広く周知する。
  - 調査報告書送付の際のアンケートを継続して実施し、活用状況を把握するよう努める。また、アンケート結果などに基づき、必要に応じヒアリングを行い、次年度の調査に活かす。
  - 調査報告書の内容についてはアンケート結果なども踏まえながら、時事的な特集のページを増やすなど、より充実した紙面構成を目指す。
3. メセナ・アソシエイト制度の振り返り、外部への積極的周知
  - メセナ活動の今日的な課題をテーマに先進的な事例について事例研究を行い、少人数での密度の高い共同研究を目指す。



- 2019 年度で開始から6期目となることから、前年度までの 5 期分をウェブなどでより効果的に掲載する方法を検討し、メセナの研究者や関係者にも役立てるようにする。
  - 2019 年度のレポートも企業担当者だけでなく文化芸術関係者にも研究成果を届けるため、協議会ウェブサイトでの掲載方法を工夫し、必要に応じ外部ウェブサイトとのリンクを行うなど積極的に活用してもらえようとする。
4. 国外における企業メセナ中間支援組織の基礎データ収集
- 諸外国の企業メセナ・民間芸術文化支援組織に関する最新のデータを収集し、日本語版および英語版ウェブサイトの調査・研究に関するページに掲載する。
  - ライブラリーに所蔵されている海外書籍や海外メセナ機関に関する資料のうち、有益な情報についてはウェブ上で基本情報を掲載することを検討し、実施する。
  - 海外の先進的の中間支援組織・企業の担当者を招聘する、あるいは実地調査を行うなどして、最新動向・潮流の理解促進を図り、日本の企業メセナの充実につなげる。
5. 情報ライブラリーの蔵書整理、活用法の改善
- 2018 年度に新たに作成したライブラリー改善ルールに基づき、海外書籍および資料、企業ファイルを中心に蔵書などを活用されやすいように整理を行う。
  - 蔵書の 카테고리表記を見やすくし、より利用しやすい環境を整える。
  - 広報と連携して、情報ライブラリー全体のウェブ化も検討し、実施する。

## 【認定・顕彰】

### ■ 目的

メセナの姿およびメセナが社会創造に果たしている役割を、活動事例から明らかにする。認定制度で多様なメセナ活動を幅広く顕在化させると共に、顕彰によりメセナの意義と重要性を広く社会に知らしめる。これらの制度により、メセナに取り組む企業・団体を奨励し、一層の活動の充実に寄与する。

### ■ 事業内容

#### 1. 認定事業「This is MECENAT」

多様な企業のメセナ活動を可視化し、裾野を拓げることを目的に 2014 年に設立した認定制度。「これぞメセナ」と認定された活動には、シンボルである「メセナマーク」を年度毎に発行し、専用サイト「メセナアーカイブ」に蓄積するほか、顕彰事業「メセナアワード」と連動して運営。

## 2. 顕彰事業「メセナアワード」

1991年に創設した、優れたメセナ活動を顕彰する事業。「メセナアワード 2015」より、「This is MECENAT」と連動して運営。認定年度の翌年に、特に優れた活動7件(メセナ大賞1件、優秀賞5件、特別賞:文化庁長官賞1件)を選考し、受賞活動に対して、表彰状とトロフィーを贈呈する。[文化庁後援]

※This is MECENAT およびメセナアワードの審査・選考は、協議会が委嘱した外部の有識者によって行われる。

### ■ 課題

1. 「This is MECENAT」の認定活動、「メセナアワード受賞活動」の発信を強化する。
2. 「This is MECENAT」において、より多様な活動を発掘し、認知度向上につなげる。

### ■ 重点施策

#### 1. 「This is MECENAT 2019」

##### ① 多様な発信媒体の活用

広報事業と連携し、会員企業が実施する認定活動は、アート&カルチャーへの掲載をはじめ、メールマガジンの配信や SNS の活用、メセナライターの特ピックスとしても継続的に発信を行う。また、外部の配信サービスの活用や認定企業とのサイトの相互リンクなど、登録数の増加を目指す(2018年度会員認定数:49社)。

##### ② 活動企業の新規開拓と裾野の拡大

調査回答企業・財団に「This is MECENAT」の登録を継続して呼びかけるとともに、「This is MECENAT」への登録がメセナ活動の第三者評価として定着しつつあり、新規企業に向けて発信につながる点をアピールし、さらなる登録促進を図る。また、地方自治体や商工会議所、新聞社など、地域に基盤をもつ機関とのネットワークを強化し、地域企業の情報収集に努め、認定活動の裾野を拓げることを目指す。

##### ③ 「This is MECENAT」専用サイトの見直し

創設から5年を迎え、「This is MECENAT」の認知度のさらなる向上を目指し、ウェブサイトのレイアウトを再検討する。現在トップにある活動紹介ページについては、アーカイブの目的に最適な場所に入れ替え、認定活動やメセナアワード受賞活動などの情報を定期的に発信できるよう、月毎にトピックスを作成、更新する。また、協議会ウェブサイトともリンクさせ、コンテンツとしての厚みをもたせていく。

#### ④ メセナマークのあり方について検討

当制度の趣旨である、認定活動の可視化とさらなる浸透を目指し、メセナマークのあり方について再検討する。部会の意見を受けて、年度毎のマークに加え、「活動を協議会が認定している」ことが明示できるようなサブキャッチを付けるなど、検討を行う。また、これからも積極的なマークの利用を推奨するために、従来の活用ガイドラインを改善し、事例とともにウェブサイトで掲載する。

## 2. 「メセナアワード 2019」

### ① 部会による推薦制度の充実

「メセナアワード」の対象活動を選考するうえで、より多様なメセナ活動の発掘・顕彰を目指し、2015年度から導入している認定・顕彰部会による推薦制度を引き続き充実させていく。「メセナアワード」の選考会では、様々な特徴を持つ活動をより理解しやすいように、申請書類を見直す。応募活動については、情報収集と現場視察に努め、より充実した情報共有に取り組む。

### ② 受賞活動の発信を促進

「メセナアワード」の受賞活動について、10月を目途に広報と連携して記者発表会とプレスリリースを配信、11月下旬に贈呈式を行う。贈呈式には、メセナに対する想いを臨場感を持って伝えていただき、できるだけ受賞各社・団体の経営層に登壇していただけるよう働きかけ、スピーチのWEB掲載や取材等につなげる。受賞後は、セミナー事業と連携し、好事例として講演会の開催などを行う。

## 3. This is MECENAT／メセナアワードの今後について

2019年はThis is MECENATを導入し、メセナアワードと連動させてから5年目を迎える。企業メセナの更なる裾野の拡がりや高みを目指すため、今後も認定・顕彰部会、審査会でご意見をいただきながら、システムも含め制度運営について、検討を加える。



This is MECENAT 2019／メセナアワード 2019 ロゴ



メセナアワード 2017 贈呈式

[This is MECENAT／メセナアワード実施要領]

- ・This is MECENAT 2019 募集時期：2019年3月～5月
- ・メセナアワード2019 エントリー〆切：2019年5月末
- ・審査委員長：原島 博（東京大学名誉教授）
- ・審査委員：大谷能生（音楽家／批評家）  
中島信也（東北新社取締役／CMディレクター）  
馬淵明子（国立西洋美術館長）  
尾崎元規（企業メセナ協議会理事長）  
\*新任の審査委員を補充予定
- ・メセナアワード2019 贈呈式：11月下旬予定

## 【会員ネットワーク | セミナー】

### ■目的

会員相互の情報交換と交流の促進、研鑽の場を提供し、企業とアート NPO・市民団体・文化政策に携わる国や自治体・教育機関等組織をつなぐ活動を行う。「メセナ」に関する中間支援団体として、プラットフォームづくりを通じ、相互交流の促進を目指す。

### ■事業内容

#### 1. 会員ネットワーキング活動の実施

新入会員の顔合わせの機会として「新入会員ファーストミーティング」を実施するほか、会員の関心が高いメセナの現場を視察し研鑽を深める「会員ネットワーク勉強会」「メセナ美術部・メセナ音楽部」「会員交流会」により、会員各社・文化関係者の交流・ネットワークづくりを促進する。

#### 2. セミナー、講演会等の企画・実施

調査・研究、認定・顕彰、助成など基幹事業と連携した各種セミナーのほか、メセナ・文化政策等に関するセミナー、講演会を企画・実施する。

### ■課題

1. ネットワーキング活動の十分な広がり、幅広い会員各社団体・文化関係者への認知向上
2. 年間を通じた定期的・継続的なセミナー、イベントの開催
3. 協議会ならではのセミナーテーマの設定、先進的事例の紹介

## ■重点施策

### 1. より幅広い会員ネットワーク活動の企画・発信

会員ネットワークの各活動について、引き続き会員ネットワーキンググループの意見を仰ぎながら、会員ニーズを汲み取った企画や交流機会の設定を行い、入会後もできるだけ多くの会員が交流を深められる場づくりを目指す。また、フィールド視察などを通して地方メセナの現場を訪問し、首都圏のみならず、地方会員が参加できる場づくりを実施する。

### 2. 年間を通じたセミナー・イベント開催と、2020 年を見据えた内容の充実

- ① 調査研究事業との連携セミナー・報告会
- ② 文化政策系セミナー(国内外および地方自治体における文化政策の動き)
- ③ 助成事業との連携セミナー(寄付、税制、法律、ファンドレイジング、フィランソロピー全般等)
- ④ 文化と経営等をテーマとする講演会(企業トップ、メセナアワード受賞企業、文化人等)といったテーマを柱に、各事業の知見を活かしたセミナーを開催するとともに、協議会創立 30 周年に向けて、より日本の企業メセナの認知度向上と活性化を図るべく、周年イベント(シンポジウム)についても企画立案する。テーマ・ゲスト選定にあたっては、時代のニーズを捉えながら、会員各社・団体はじめ、芸術文化振興にかかわる内外機関と連携して、事務局内にて検討を行う。セミナー等で得られた知見・事例等のレポートについて、ウェブサイトを中心に情報公開を行い、蓄積・発信する。

### 3. 会員サービスメニューの再整理

協議会の会員サービスメニューを再検討し、ウェブサイトや紙媒体での積極的なPRを行う。ウェブサイト全体のリニューアル方針に基づき、会員限定のコンテンツなどについても検討する。また、他団体の例を参考にしながら各種イベントの料金体系の再検討を行い、会員／非会員を含め、適正な設定の在り方を検討する。

## 【相談・協力 | コンサルティング】

### ■目的

コーディネート、コンサルティング機能を強化し、企業や文化芸術に関わる諸団体の活動に寄与し、活発化させる。アート NPO や市民団体、文化政策に携わる国や自治体、教育機関等からの相談・協力を積極的に対応し、セクターを越えた文化振興プラットフォームとしての役割を果たす。

## ■事業内容

### 1. 企業、文化団体やアート NPO からの相談対応、コンサルティング業務

「メセナよろず相談日」等の実施により、会員をはじめ企業・企業財団、民間の文化団体、自治体等からの相談に対応する。

### 2. 企業・自治体等からの文化事業の受託・実施

### 3. 諸団体からの講演依頼、評価委員等の受託

自治体、大学、文化団体等からの講演、審議委員等依頼に対応する。

## ■課 題

### 1. コーディネート、コンサルティングにおける、事務局内リソースの活用と、提案力の向上

## ■重点施策

### 1. メセナの専門機関として、企業を中心に幅広く文化セクターの相談に応じる

四半世紀にわたり蓄積してきた協議会ノウハウ・ネットワークを活用し、メセナの専門機関として、企業を中心に幅広い相談に応じるとともに、文化団体やアート NPO、企業との連携を望む自治体等をつなぎ、パートナーシップによる芸術・文化振興を推進する。

### 2. 事務局内の柔軟な体制による、提案型のコンサルティング実施

各相談案件のテーマに最適なチームづくりと、各事業のノウハウ・知見を活かした提案を行う。

### 3. 2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化の祭典への取組の検討

協議会ならではの機会をとらえて、会員企業・団体の活動に光をあてる取組みを推進する。

## 【助 成】

### ■目 的

芸術・文化活動に対する企業・個人からの寄付を促し、特定公益増進法人の特性(寄付金の税制優遇の適用)を活かした制度運用を行い、寄付者と活動者との間をつなぐ役割を担うことで、芸術・文化の振興を図る。

## ■事業内容

### 1. 2021 芸術・文化による社会創造ファンド[2021 Arts Fund]

2020 年以降も見据えた、社会創造につながる創造性あふれる芸術・文化活動への寄付を促進し、寄付者の意向に沿った支援プログラムのコーディネートおよびファンドの運営を行う。

### 2. 助成認定制度

特定公益増進法人の特性を活かした制度運用により、支援者は寄付をしやすく、活動者は寄付を集めやすくすることで、芸術・文化活動への民間寄付を税制面から促進する。芸術・文化団体(活動者)の申請を受けて、審査および活動の認定を行う。現在、当制度へ申請できる活動は総事業費 3,000 万円以内、総寄付額 1,000 万円以内が対象となっている。)

※1, 2ともに同スケジュールにて申請と選考・審査を年 4 回実施している。

### 3. 芸術・文化による災害復興支援ファンド[GBFund]

東日本大震災の発災をきっかけに、芸術・文化による復興ファンドを設立。趣旨にご賛同くださった寄付者の方々とともに、被災者・被災地を応援する目的で行われる芸術・文化活動や、被災地の有形無形の文化資源を再生する活動支援を行う。

## ■課 題

- ① 芸術・文化団体にとって助成制度をよりわかりやすいものにする。
- ② 2021 Arts Fund による目的別ファンドの設置について、寄付者の要望に応じた柔軟な対応を可能とするファンド設置～運用へのスムーズな導入と運営制度の改善。
- ③ 助成事業の WEB システム「かるふあん！」のシステムの改良
- ④ 助成事業のデータベース(寄付情報・芸術団体・活動情報等)の活用

## ■重点施策

### 1. 助成事業の体系化

(1)活動者の利便性を高め、一層多様な支援が行えるよう、助成事業の一元化を目指し、2021 Arts Fund と助成認定制度の運用について再検討し、助成事業全体の体系的な整理を行い、骨子案を作成する。

(2)利用者にわかりやすい説明を心がけ、HP における助成制度の理解促進をさらに図るため、サイトのページを見直すことで、制度説明の問合せ件数の減少を目指し、業務効率化につなげる。また助成事業全体の資料を見直し、わかりやすいものに改善し、活用しやすくする。

## 2. 2021 ArtsFund のさらなる目的別ファンド設置推進に向けた改善

ファンドの標準的モデルを設計し、利用者の利便性を上げるとともに事務作業を効率化し、寄付者の要望に柔軟に応えられるファンド設置の働きかけをさらに推進する。

## 3. 効率的な WEB システムの運用

2014 年より導入した WEB システム(かるふあん！＝オンラインでの申請・寄付等の仕組み)のさらなる利便性の向上と業務の効率化を継続して行う。

## 4. 助成事業のデータベースの活用促進

寄付情報・活動情報を整理し、分析と活用を可能とする助成事業のデータベース化を行い、助成事業の PDCA および事業効率化のみならずデータを有効に活用できる形にする。

## 5. セミナーの開催

活動者向けの、ファンドレイジングセミナーや、協議会の助成事業制度の紹介セミナーを開催することにより、助成制度の利用促進につなげる。

## 【広 報】

### ■ 目 的

協議会各事業の取り組み、および会員各社団体のメセナ情報等を広く発信し、「企業メセナ」の周知と多様な価値の見える化、協議会のプレゼンス向上に寄与する。

### ■ 事業内容

#### 1. 国内外に向けた企業メセナ・協議会活動に関する情報発信

- ・ プレスリリース配信、メールマガジン(月 1 回)、会員メールニュース(不定期)
- ・ 協議会ウェブサイト(日英)の管理・運営、コンテンツ制作、SNS 更新
  - 「アート&カルチャー」:協議会会員のメセナイベント情報を紹介
  - 「メセナライター制度」:外部ライターによる、メセナの現場・協議会行事の取材レポート
- Facebook、Twitter、Instagram 等の運用
- ・ 記者発表会等の実施

#### 2. 協議会発行物の制作・管理

- ・ 『メセナアワード』リーフレット、セミナー報告書等印刷物の制作統括



## ■課 題

1. 戦略的広報計画および各事業との連携強化
2. 会員各社・団体、とくに地方会員企業、および地域メセナに関する情報発信不足
3. ウェブの運用、管理体制、作業分担の明確化
4. メディア記者とのコミュニケーション強化
5. 協議会発行物やクリッピングなど、過去からの資産の有効活用

## ■重点施策

### 1. 年間を通じた戦略的、横断的な情報発信

- 年間を通じ、協議会の各事業に対応した広報プランを策定し、横断的な視点のもと、タイムリーかつ効果的な発信を行う。協議会各事業の成果のアウトプットを確実にを行い、利用者にとって活用できる形でのアーカイブ化を進める。
- 過去資料の整理や蓄積してきたデータを一元化し、事業の管理体制を見直す。このような基盤整理をはかることで戦略的広報計画につなげる。

### 2. 会員各社団体のメセナ情報の効果的な発信

- すべての会員各社・団体を対象に、メセナ情報の掲示板「アート&カルチャー」掲載について継続して積極的な声掛けを行い、掲載数の増加を図る。
- すでに掲載されている会員企業の活動数やアクセス解析などを参考にしながら、SNS・メールマガジン等の他媒体と連動することでより効果的な発信ができるよう工夫を加える。
- 引き続き「メセナライター」制度では、メセナを発信する人材の発掘・育成につなげるとともに、「企業メセナ」の理解者を増やすことを目指す。
- 昨年より開始した「企業メセナ訪問記」では、企業のメセナ活動情報を集約したデータベースを作成し、それを元にした新たなテーマ設定と共に周年事業やトピックスにあわせたタイムリーかつ効果的な発信を行う。
- 各記事のアクセス数の継続的な収集を行い、その解析結果をテーマや取材対象選定の参考にし、内容の充実をはかる。
- 今後の新規会員獲得につなげるため、非会員への情報発信のあり方についても引き続き検討を進める。

### 3. 協議会ウェブサイトのリニューアルに向けたコンテンツの見直し

- 作業分担の明確化や、管理方法のルール化により、効率的で円滑な運用を実現する。
- 昨年度実施したアクセス解析や各事業のヒアリングをもとに、コンテンツの整理、再編集を行い、より閲覧者のニーズや利便性にあったサイトづくりを逐次行っていく。

- リニューアル後は、メセナ、社会貢献等に関心のある層など、より幅広いターゲットへ情報を届けるため、外部サイトとの相互リンクを積極的に行う。

#### 4.メディアや記者などとのネットワーク形成

- プレスリリース配信の際に内容に応じたターゲットの絞り込みを行い、記者と積極的にコミュニケーションをとる。
- それらの積み重ねをもとに、メディアや記者とのネットワークの形成につなげる。

#### 5.協議会に蓄積された資産の有効活用

- 本年度は助成事業でコンスタントなニーズのある、2007年発行『メセナ セミナーシリーズ No.10 企業メセナへのアプローチガイド』及び『「メセナ」を知る本』のリニューアルへ向けたコンテンツの検討を開始する。
- 現在は発行も販売も終了している「メセナ note」のPDF化を進め、ウェブへ掲載して広く一般の方々にも読んでいただけるようにするなど、有効活用できるようにする。
- メセナに関する創立当初からの新聞や雑誌のクリッピング資料のデータベース化を進め、そこに検索機能を付けることにより情報の活用を促進する。
- 上記の様に過去から蓄積してきた資産の整備を進め、協議会設立30周年を迎える2020年以降、幅広く活用できるような環境を整える。

### Ⅲ. 年間スケジュール

月	事業	組織運営
1月	第4回SOMPO アート・ファンド選考委員会開催	◇賀詞交歓会 1/22@東京ガーデンテラス紀尾井町カンファレンスセンター
2月	◇メセナ音楽部(予)	●通常理事会&運営企画委員会 2/15@日経本社
3月	◇文化講演会(予)3/8	●社員総会 3/8@大手町カンファレンスセンター
	◆助成認定制度&2021 アート・ファンド選考・審査委員会 SOMPO アート・ファンド ネットワークミーティング 2019	
4月	★TIM 募集	
	◇助成・寄付系セミナー開催(予)	
5月	◇勉強会(予)	
	■調査報告会	
	★TIM/メセナアワード〆切	
6月	★TIM 審査会	
	■調査アンケート開始	
	■メセナ・アソシエイト第5期レポート公開	
	■メセナ・アソシエイト第6期募集開始	
7月	◆助成認定制度&2021 Arts Fund選考・審査委員会	◎運営企画委員会
	◇文化政策系セミナー開催、あるいは海外先進事例セミナー開催(予)	
8月	◇メセナ美術部(予)	
9月	◆助成認定制度&2021 Arts Fund選考・審査委員会	
	■調査アンケート〆切 ★メセナアワード選考会、受賞活動決定	
10月	■調査部会勉強会	◎運営企画委員会
	★メセナアワード受賞活動発表	
	○記者発表会 ◆第5回 SOMPO アート・ファンド活動公募開始	
11月	★メセナアワード贈呈式	
	◇フィールド視察(予)	
12月	◆助成認定制度&2021 Arts Fund選考・審査委員会	●通常理事会&運営企画委員会